**営業権に基づき築地に残りましょう**

１．はじめに

　私は昭和63年から市場の仕事に携わりながら魚の供養のために神事を一人で行なってきました。

　10年前からは早朝に水神社の掃除をして魚の命を頂いていることに対して感謝の気持ちを祝詞に託して奏上してきました。365日一日も休んだことはありません。

　私は、今の移転問題について、賛成の人にも反対の人にも伝えて理解していただきたいと思って、この文書を記すことにしました。

２．移転決議の問題点

　東卸組合の定款には、中小企業等協同組合法の重要な規定が含まれていません。違法な定款ともいえるほどです。

　そもそも、営業権を持つのは個々の組合員ですから、東卸の総代会決議で移転を決めることはできません。東卸が総代会決議を挙げたところで、それは無権代理行為に過ぎず、効力は発生しません。したがって、組合員に移転を強制できません。

　協同組合は「組合員に奉仕することを目的とする」団体であり、組合員に移転を強制することなどできるはずがありません。

３．豊洲の問題点

**(1) 汚染が未解決**

　土壌汚染が未解決のため、毒が気化して建物内に充満します。豊洲は密閉式の建物なので今も基準値の150～170倍といわれています。また、カビも発生しています。

　したがって、豊洲では食の安全・安心は得られません。さらに、市場で働く人たちの健康被害と公害が懸念されています。

**(2) 建物について**

　①耐震強度偽装がされていて、強い地震が来たらとてももちこたえられないと建築の

専門家の方々が口々に警鐘を鳴らしています。

　②杭打ちについても偽装がなされていると内部告発で明らかになりました。

　③何もしないでも建物が傾むいていくと断言されています。現在すでに陥没が起きています。

　④豊洲の海沿いの外壁に亀裂が入って段差ができています。

**(3) 建物内部の機能について**

　①茶屋が廃止されています。しかも駐車場が足りません。鮨屋さんなどの業者が仕入れに来れないという事態が発生するのは確実です。

　②４階の茶屋の代替駐車場では、水がない、海水がない、氷がない状態です。

　　４階の製氷室は図面上にただ書いてあるだけです（2018年９月２日現在）。

　　氷屋さんは４階まで運べないと断言しています。

以上のように、豊洲では魚市場としての機能は全くできていません。

豊洲市場に行けなかった業者の為にも築地市場で営業を続ける必要があります。

４．築地市場の「のれん＝営業権」について

(1) 築地市場の業者には「のれん＝営業権」があります。

　　営業権は憲法で保障された財産権の一つであり、それを補償なくして侵害することはできません。

　　都が書類に署名捺印を求めるのは、営業権があるため、書類への署名捺印なしには築地市場の建物を解体できないからです。

　　書類に署名捺印さえしなければ、築地市場で営業を続けることができます。

　　また、署名捺印したとしても、その後新たに発生した「カビや陥没」に基づいて撤回すれば、やはり築地市場で営業を続けることができます。

(2) 「のれん＝営業権」は一朝一夕にできたものではありません。長い歴史の中で民衆の血のにじむような努力や壮絶な闘いを通じて国も認めざるを得なくなったのです。

　　現在、営業権は、憲法で「侵してはならない」として保障されている財産権の一つとされています。公共事業で営業権を侵すには、事業の前に損失補償をすることが義務づけられています。補償の方法も閣議決定された要綱によって決められています。

(3) しかし、声をあげないまま豊洲に移転したり、豊洲では収益が見込めないことから廃業したりすれば、営業権は無視されてしまいます。そして、築地市場の建物が解体されれば、営業権は消滅してしまいます。築地市場の業者の営業権は、無視されたり、消滅させられてしまったりするだけの内実しかなかったということになってしまいます。

　　豊洲には行きたくないと言いながら、今の流れに飲み込まれて、「のれん」を奪い取られていいのでしょうか。

５．営業権で解体を止められる

　①「のれん＝営業権」を主張し、②築地に居残って営業を続けること、によって営業権を守り、築地の建物の解体工事を止めることができます。

　豊洲に移転した業者も、３で述べた豊洲の問題点を考慮すれば、いつでも築地に戻れるようにしておくほうが安心です。「電気・水道を止め、残置物の処理を都に任せる」ことへの同意書を撤回すれば、いつでも築地に戻れます。築地の賃料は、そのための保険料と考えれば安いものです。

　私は今まで築地市場の守神である水神社で築地市場の魚の命に真剣に向き合ってきました。「魚」のためにも、一社でも多く築地に残っていただき、築地市場を残していただきたいと願っています。

　水神社は築地市場を見守って下さっています。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　2018年９月16日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　茶屋　猿渡　誠